

□要請番号 (JL58725B02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
コートジボワール	G236 家政・生活改善	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/2・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

技術・職業訓練省

2) 配属機関名（日本語）

ポールブエ・社会福祉・ファッショントレーニングセンター

3) 任地（アビジャン自治区ポールブエ市）JICA事務所の所在地（アビジャン自治区ココディ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約0.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1975年に女性向けの職業訓練校として設立され、2002年から共学となり、2022年に現在の校名になった。中学卒業相当の資格であるCAP(職業適正証書)3年コースに、保健衛生・社会福祉科、理容科、美容科、裁縫科の4科があり、高校卒業相当の資格であるBT(技術者証書)3年コースには、科学医療社会福祉科がある。2025年度の総生徒は1,644名(女子1,549、男子95)。開校時間は8:00~17:00。通常コース以外に、成人を対象とした3~9か月の夜間職業訓練コースもあり、283名(女性261、男性22)が在籍している。校長は、2016年に施設管理に関するJICAの長期研修に参加し、1か月半ほど、日本での滞在経験もある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当地では、カラフルなアフリカ布が老若男女に好まれており、街の至る所で仕立て屋を見つける事ができる。乾きやすい素材は当地の気候に適しており、冠婚葬祭ではお揃いの生地で服を仕立てるなど、アフリカ布と仕立てでは現地の方の生活の一部となっている。そのため配属先の裁縫科は、授業の約3割が座学、約7割が実習という、実技に重きを置いたカリキュラムで若い人材を育成し、ファッショントレーニングセンターに人材を送りだしているものの、同科の就職率は30-40%程度に留まっている現状である。日本人の新しい視点や、丁寧な道具の使い方や管理など、現地の教員と共に実習の授業を実施することで、教員の技術力や指導力向上、生徒の就職支援に貢献することを期待し、JICA海外協力隊(以下、隊員)の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の教員の一人として以下の活動を行う。

- 裁縫科のアトリエにおいて、同僚教員が実施する実技(裁縫、裁断、編み物、かぎ編み、刺繡等)の実習を補助する。
- 同僚教員に、既存製品のデザインの改善や製品の品質向上、新たな商品のアイデアを提案する。
- 職業訓練センターの関係者にカイゼン活動を紹介し、可能な事から実践する。
- 余力があり得意なものがあれば、理容科や美容科の教員を補助する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

裁縫道具及び電動・手動ミシン等(BRITEX, SGGEMCY, SINGER, JANOME)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 校長(女性50代、JICA研修参加者)、副校長(男性50代)裁縫科教員(5名、30~50代女性、指導経験20年以上3名・5年程度2名)、その他の教員(総勢70名程度)

活動対象者: 主に裁縫科の女子学生(約15歳~27歳)。1年生8名、2年生7名、3年生7名。

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : (専門学校卒) 家政 備考: 指導に専門知識が必要

[性別] : (女性) 備考: 女生徒を指導するため

[経験] : (実務経験) 3年以上 備考: 指導に経験が必要

[参考情報] :

- ミシンでの製作経験があると望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (サバナ気候) 気温: (25~35°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (安定)

【特記事項】

- 2002年、内戦等による治安悪化に伴う全隊員の退避以来の派遣で、本募集期からの募集再開となる。
- 多くの民族が存在しているが、活動及び生活はフランス語のみで可能である。

【類似職種】

- 服飾
- 手工芸

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。